



No. **42**
15. January. 2019

日本ホスピス緩和ケア協会

NEWS LETTER ニューズレター

Hospice Palliative Care Japan

日本ホスピス緩和ケア協会事務局

〒259-0151 神奈川県足柄上郡中井町井ノ口1000-1

ピースハウスホスピス教育研究所内

TEL 0465-80-1381 FAX 0465-80-1382

Website <https://www.hpcj.org/> E-mail info@hpcj.org



新春メッセージ

今年はターニング・ポイントになる



特定非営利活動法人
日本ホスピス緩和ケア協会
理事長 志真 泰夫

年頭にあたり、会員の皆様に新春メッセージを送ります。

2018年4月の診療報酬改定は、日本のホスピス緩和ケアの今後の方向を考える上で重要なターニング・ポイント（物事の変わり目、転換点）になる可能性があります。日本のホスピス緩和ケアは、病院のホスピス・緩和ケア病棟における入院医療として出発して、その後入院医療以外にも広がって来ました。同時に、その経済的基盤を多くの人からの寄付に頼るのではなく、健康保険制度のもとで社会保険料などの公的資金を基盤としました。また、ホスピス緩和ケアを提供する主な対象は、これまでがん患者さんに限られてきました。この3点は、ホスピス緩和ケアに携わる私たちにとって、好むと好まざるとに係わらず、これからの方向性を考える上で、重要なポイントです。

ホスピス緩和ケアの変化と分化

まず、ホスピス・緩和ケア病棟は、平均在棟日数（30日未満、またはそれ以上）、入院待機日数（14日未満、またはそれ以上）、軽快退院患者の退院先（自宅等の住宅、介護施設等居宅系施設、療養病棟が15%以上またはそれ未満）、以上の3基準によって「緩和ケア病棟入院料1」または「2」に分けられることとなりました。これによって、会員の緩和ケア病棟入院料届出受理施設は2つのグループに分かれることとなります。協会事務局の調査（2018年9月現在）では、全国412病棟のうち「緩和ケア病棟

入院料1」290病棟（70.4%）「2」122病棟（29.6%）という割合でした。「入院料1」と「2」のグループは、診療報酬のみでなく、今後、その役割も2つに分化してゆくのか、協会として検討する必要があります。次に、近年、心不全の緩和ケアが全国各地の病院で取り込まれるようになってきています。その結果、緩和ケアチームの診療報酬には、対象患者に「末期心不全」が加わりました。がん以外の疾患への緩和ケアの普及の始まりと言えます。さらに、2016年度診療報酬改定で設けられた「在宅緩和ケア充実診療所・病院加算」届出受理施設は、670施設（2018年11月現在）に拡大しています。これらの施設のうち協会会員は56施設（8.4%）に止まります。在宅緩和ケアの量的拡大とともに質が問われることとなります。

診療報酬の現状を検証

このように1990年以降「緩和ケア病棟入院料1・2」「緩和ケア診療加算」「外来緩和ケア管理料」「在宅緩和ケア充実診療所・病院加算」という健康保険上の枠組みは整備されて来ました。しかし、これらの診療報酬が果たして現実のニーズ（患者の必要としていること）を満たしているのか、提供しているケアの質は大丈夫なのか、協会として年次大会などの場を通じて検証する必要があります。

当面する重点課題

当協会は、専門的な緩和ケアを提供する施設が加盟する専門団体として、①質の向上と保証、②教育支援、③普及啓発、④政策提言、⑤情報提供・広報、⑥連携・国際交流、以上6つの事業を活動の柱としており、これらの6つの事業は今後も継続します。今年の重点課題として、まず「連携・国際交流」事業でAPHC2021の準備活動に取り組む、そして、「情報提供・広報」事業でホームページ、ニューズレターを通じて会員の皆さんへの情報提供を強化したいと思います。

2019年度年次大会 開催スケジュールが決定！

日時 2019年 7月13日(土)・14日(日)

会場 東京ビッグサイト会議棟 (7階国際会議場・6階会議室)
〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1 <http://www.bigsight.jp/>

1日目 7月13日(土)

- ◆13:30~14:30 総会
- ◆14:45~17:30 シンポジウム
「緩和ケア病棟の役割の変化と在宅・施設との連携」
- ◆18:00~20:00 懇親会

2日目 7月14日(日)

◆分科会 9:00~12:00

テーマ

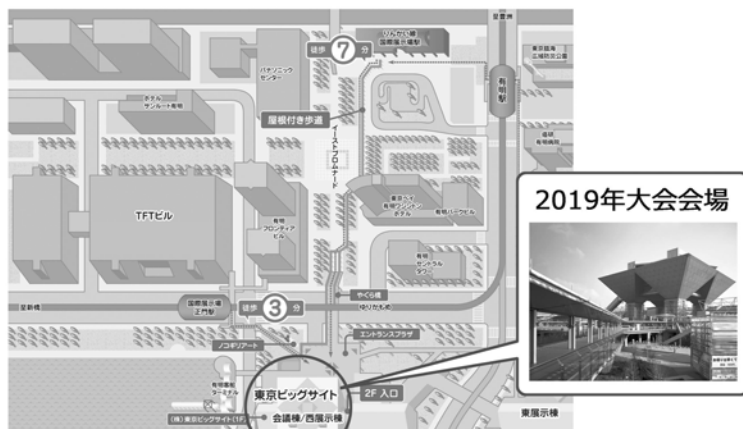
- ・ IPOS(Integrated Palliative care Outcome Scale)日本語版を用いた緩和ケアの質の維持・向上
- ・ 緩和ケア病棟における退院支援にかかわるジレンマを解決するには
～多職種チームアプローチの視点から考える～
- ・ 専門的緩和ケアを担う看護師に求められるコンピテンシーを考える
- ・ “緩和ケア病棟の役割の変化と在宅・施設との連携”を掘り下げる(仮)
- ・ 在宅緩和ケアに関する分科会(テーマ検討中)
- ・ 緩和ケア専門外来に関する分科会(テーマ検討中)

◆特別企画セミナー 13:00~16:00

- ・ 緩和ケア病棟運営管理者セミナー(対象:緩和ケア病棟の運営管理者)
「緩和ケア病棟における働き方改革:時間外労働削減とケアの質の確保の両立」
- ・ MSWセミナー(対象:ホスピス・緩和ケア領域専従のソーシャルワーカー)
「診療報酬の改定によるソーシャルワーク業務への影響(仮)」
- ・ SPACE-Nフォローアップ研修(対象:SPACE-N修了者)



・申し込み方法や各プログラムの詳細は、4月上旬にご案内いたします。プログラムは変更となる場合があります。



東京ビッグサイトへのアクセス

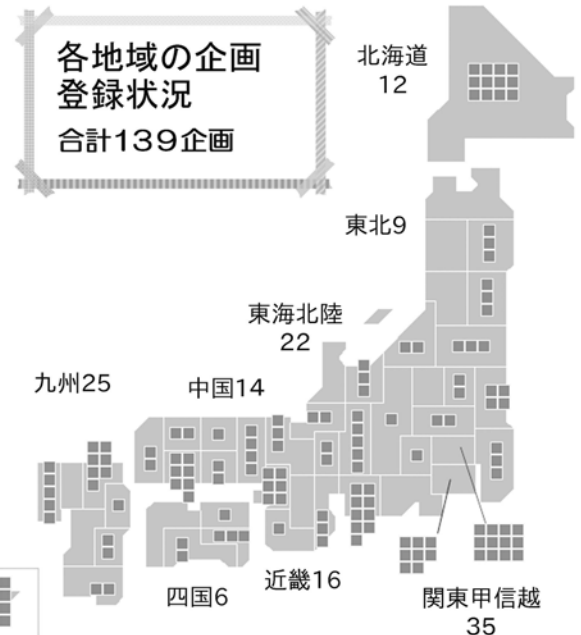
- りんかい線
「国際展示場駅」から徒歩7分
- ゆりかもめ
「国際展示場正門駅」から徒歩3分
- バス
都営バス 東京駅八重洲口(豊洲駅経由)→東京ビッグサイト下車
空港バス 羽田空港→東京ビッグサイト下車
成田空港→東京ベイ有明リソソホテル下車徒歩3分
- 駐車場完備(営業時間内1日最大 2,000円)

日本ホスピス緩和ケア協会では、「世界ホスピス緩和ケアデー(World Hospice and Palliative Care Day)」を最終日とした一週間(2018年度は10月7日~13日)を「ホスピス緩和ケア週間」とし、ポスターの掲示及びセミナーや見学会の実施などを通して、緩和ケアの啓発普及活動に取り組んでいます。

第13回目を迎えた本年もポスター・チラシを作成し、協会会員をはじめ、がん診療連携拠点病院、日本緩和医療学会会員、日本死の臨床研究会会員など、全国の関係者に案内して企画の開催を呼び掛けたところ、139の企画登録がありました。

今年度は、栄養士によるがん治療中の食事の工夫や、理学療法士による在宅療養の手助けになる技の紹介など、多職種による講座が多数開催されました。また、メインの催しの他に、ヨガやアロママッサージ体験など、リラックスし、楽しみながら参加できる催しを組み合わせた企画もあり、市民や医療福祉関係者など8,800名あまりの参加がありました(展示会の参加者は含まず)。

実施施設からは「顔が見える関係づくり、地域・施設・病院の連携を深める機会となりました」「市民の方々に緩和ケアについて知っていただくと共に、医療者にとっても寄り添うことの大切さを再認識するよい機会となりました。」といった報告が寄せられました。



当日の様子

各企画より提出された写真の一部をご紹介します。

北海道



市民対象の公開講座
【札幌厚生病院】

宮城県



医師によるロビーコンサート
【宮城県立がんセンター】

福島県



オープンホスピス
【坪井病院】

茨城県



相談コーナーの設置
【筑波メディカルセンター病院】

栃木県



ストレッチ
【栃木県済生会宇都宮病院】

神奈川県



小児緩和ケアセミナー
【神奈川県立こども医療センター】

World hospice & palliative care day

世界のホスピス緩和ケアデー

2018年度の 世界ホスピス緩和ケアデー (World Hospice and Palliative Care Day) は「Palliative Care -Because I Matter」をテーマとして実施されました。各国の企画の様子は、下記ホームページでご覧いただけます。

<http://www.thewhpc.org/world-hospice-and-palliative-care-day>



左上:マレーシア、右上:インド、左下:カナダ、右下:バングラデシュ
(緩和ケアデーに企画登録している各国の団体ウェブサイトの報告より)

山梨県



患者・スタッフの希望の木
【塩山市民病院】

三重県



パネル展示
【伊勢赤十字病院】

愛知県



日替わりミニセミナー
【愛知医科大学病院】

和歌山県



緩和ケア相談会
【紀和病院】

兵庫県



緩和ケアチームによる講演会
【ふくやま病院】

岡山県



家族会
【岡山済生会総合病院】

広島県



お砂踏み
【前原病院】

島根県



医療従事者による寸劇
【島根大学医学部附属病院】

徳島県



演奏会
【徳島市民病院】

長崎県



ホスピス祭り
【出島病院】

大分県



笑いヨガ体験
【大分県立病院】

鹿児島県



医療従事者対象の講演会
【今給黎総合病院】

沖縄県



アロママッサージ
【沖縄県立南部医療センター・こども医療センター】

企画内容

① 一般市民向けの講演会・フォーラム等	66
② 医療従事者向けのセミナー・研究会等	11
③ ホスピス緩和ケア関連のパネル展示	74
④ コンサート・演劇等	27
⑤ 緩和ケア相談コーナーの設置	45
⑥ チラシ・パンフレット等の配付	37
⑦ 緩和ケア病棟の見学会	32
⑧ 体験・試食コーナー等の設置	20
⑨ ホスピス緩和ケアに関する動画の上映	6
⑩ お茶会・がんサロンの開催	13
⑪ 遺族会・他病棟との職員懇親会等	8
⑫ その他（作品作りなど）	18

合計 357

※1つの企画内で複数のイベントを開催した場合はそれぞれをカウント

参加者内訳

一般市民／患者（入院・外来）／家族／遺族／学生（医学生・看護学生）／教員／医師／看護師／看護助手／薬剤師／臨床心理士／ソーシャルワーカー／相談員／管理栄養士／理学療法士／作業療法士／保健師／ケアマネジャー／介護支援専門員／歯科衛生士／介護福祉士／ヘルパー／音楽療法士／メディカルアシスタント／事務員／チャプレン・僧侶／ボランティア 他

合計：8,876名（人数が曖昧な報告・展示会来場者は含まず）

企画参加施設種別

協会会員 97施設 / 会員以外 42施設

【協会正会員】内訳

緩和ケア病棟 … 83 緩和ケアチーム … 5

一般病院 … 5 診療所 … 2

【準・賛助会員】 … 2

【会員以外】内訳（学会：日本緩和医療学会、研究会：日本死の臨床研究会）

がん診療連携拠点病院… 16 学会会員 … 21

学会会員・拠点病院… 8 学会・研究会会員 … 6

学会会員・研究会会員・拠点病院 … 3

不明（無記入） … 12

※複数の施設が1つの団体として主催している場合は、代表施設のみを参加施設とした。

2019年度

世界ホスピス緩和ケアデー & ホスピス緩和ケア週間

2019年度の「ホスピス緩和ケア週間」は、10月12日（土）に開催予定の「世界ホスピス緩和ケアデー/Voices for Hospices」を最終日とした、10月6日（日）～10月12日（土）の一週間を予定しています。詳細については、8月頃にご案内いたしますが、皆様には引き続き「ホスピス緩和ケア週間」を通じた啓発・普及活動にご協力下さいますよう、お願い申し上げます。



2018年12月1日、ベルサール八重洲にて第29回理事会が開催されました。

事務局より、2018年7月開催の総会以降の入退会状況と、ホスピス緩和ケア週間の実施報告、各専門委員会からの活動報告、また、「ホスピス緩和ケアの基準」の見直しについて、2020年度診療報酬改定に向けたスケジュール、2019年度の年次大会プログラム等について話し合われました。

以下に、各委員会の活動状況をご報告いたします。

専門委員会活動

◆認証委員会

- ・2018年の認証申請には、181施設から申請があり、11月30日に審査を行った。
- ・認証条件の内「第三者評価」に関して、昨年の委員会ではJ-HOPE4について調査に参加していれば、報告書が未着でも対象とすることを決定したが、事務局に伝わっておらず対象外として案内した。あらためて申請可能となる施設に対して追加の申請案内を行い、申請があった施設の審査を1月上旬に行う。
- ・申請のあった施設の結果を確定した後、1月中に審査結果と疑義照会の案内を送付する。最終的に認証が確定した施設に対して、3月中に認証状を各施設に郵送する予定である。
- ・今後の認証制度のあり方について、アンケート調査を行うこととした。その結果を受けて、認証結果を社会的に公表していくかどうかも含め、認証のあり方を検討していく。
- ・委員交替 退任：正司明美氏 新任：高宮有介氏

◆緩和ケアデータベース委員会

- ・2019年度施設概要調査の調査項目の検討と、インターネットを通じた遺族調査のパイロット調査リストの作成およびシステムの修正作業を行っている。来年の年次大会で報告できるようにしたい。
- ・在宅緩和ケアのデータベースについては、在宅緩和ケア充実診療所の協会への入会状況を見ながら検討していく。

◆質のマネジメント委員会

- ・2018年度に実施した自施設評価共有プログラムについては、217施設から提出があり、約5,800人が参加した。2年後も今の形で続けることとする。
- ・緩和ケア病棟運営の手引きについては、2014年版



が初版だが、緩和ケア病棟の役割が大分変わってきており、改訂版を発行する予定である。今後1～2年を目途に項目立てをしていく。

- ・緩和ケア病棟運営管理者セミナーについては、参加者のアンケート結果で、長期入院を減らすことに主眼が置かれ過ぎているという意見も出た。委員会としては、患者個別のニーズおよび地域のニーズに応じて緩和ケア病棟の運営がなされるべきであることに主眼を置いたが、グループワークの中で話題が長期入院をどう減らすかという方向に傾くということはあると思う。自施設評価共有プログラムの中にも退院支援の項目は入っていないので、今後の課題と考えている。
- ・2019年度のセミナーは、「緩和ケア病棟における働き方改革—時間外勤務に対する対策と質の確保—」をテーマとして企画していく予定である。

◆多職種教育支援委員会

- ・当委員会の担当する分科会は、多職種教育支援を担当する人を対象として考え、各支部でも開催できるセミナーを試験的にやってみる形で開催してきた。実際は、他の分科会を選ばなかった看護師、MSW、医師が主な参加者となっているので、参加者のニーズに合わせたプログラムの検討が必要と考えている。
- ・2019年度は緩和ケア病棟における退院支援のジレンマに関するテーマを取り上げる予定である。
- ・分科会で配布した資料は一定期間の公開の後に削除される。これまで使用した教育プログラムを恒久的なページに掲載できるように手直ししたいと考えている。
- ・MSWセミナーは3年計画で開催しており、2018年度で3年目が修了した。2019年度、2020年度は単年度計画で開催する。

◆看護師教育支援委員会

- ・専門的緩和ケア看護師教育プログラム（SPACE-N）は、今年度に関東で29名、関西で29名が修了する見込み。全体で269名のSPACE-N修了者が出ることになる。2019年度も関東・関西で同じように開催予定である。
- ・2018年度は、年次大会2日目にSPACE-Nフォローアップセミナーを開催し好評だったので、来年度も開催したい。

- ・2019年度の分科会は「専門的緩和ケア看護師教育支援ガイド指針」の途中経過を報告することを主軸とした会を開催予定。個人・集団・組織という形でコンピテンシーがどう開発されていくのが良いのかなど、示していけたらと考えている。

◆医療・介護保険委員会

- ・2020年度の診療報酬改定に向けて、まずは協会に加入している緩和ケア病棟と在宅緩和ケア関連施設へのアンケート調査を行う予定。2018年度の診療報酬で緩和ケア病棟入院料が1と2に分かれたが、問題点を改善していくことができるような提言をしたいと思う。1月中旬に対象施設へアンケート調査を依頼予定である。
- ・委員会のメンバーについて、緩和ケア病棟の医師と看護師、また、ケアマネジャーにもご参加いただきたいと考えているが、具体的な人選はこれからである。

◇緩和ケア外来ワーキンググループ

- ・年次大会で緩和ケア外来の分科会を担当し、「緩和ケア外来の定義が不明瞭である」「外来の場でアドバンス・ケア・プランニング(ACP)が行われることも多く取り組む必要がある」「外来の対象および患者がかかる時期が、診断時から終末期まで多岐に渡る」「外来の形態が多彩であり、目的も症状緩和、入院相談、退院フォローなど多様であること」「医療者の認識、ご家族の認識が不明瞭であること」等の問題点が浮かび上がった。
- ・緩和ケア外来の定義を明確にし、今後のWGの活動を進めていく。



Asia Pacific Hospice Conference[APHC]2021

大会テーマが決定しました!!

APHCの日本開催に向けて、2018年9月2日、第一回APHC2021組織委員会が開催されました。組織委員会は、Asia Pacific Hospice Palliative Care Network (APHN) に加盟する、日本ホスピス緩和ケア協会、日本緩和医療学会、日本死の臨床研究会、日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団、笹川記念保健協力財団、日野原記念ピースハウス病院より代表者各1~2名を推薦していただき、12名で構成されています。この度、委員会での話し合いを受けて、決定した事項をご報告いたします。

テーマ：Building Bridges: Hospice Palliative Care Beyond Borders

大会長・組織委員長 志真 泰夫
 学術委員長 木澤 義之
 名誉大会長 柏木 哲夫

開催日程：2021年11月10日（水）～13日（土）

開催地：兵庫県神戸市

2019年8月1日～4日、インドネシアのスラバヤにてAPHC2019が開催されます。

Website <https://www.aphc2019.com/>



ウェブサイト求人情報を掲載しています

当協会では、ホスピス緩和ケアに携わるスタッフの充実をはかり、ケアの質の向上を目指すことを目的として、正会員施設の求人情報をウェブサイトに掲載しています。掲載を希望する場合は、ウェブサイトの会員専用ページから求人登録票をダウンロードし、必要事項を記載の上、協会事務局まで郵送して下さい。

掲載期間：4ヵ月（期限前に事務局へ延長希望の連絡があれば引き続き4ヵ月掲載可能）
 掲載費用：無料



入会・施設基準届出受理施設について

2018年7月の総会以降、下記の通り入会がありましたので、ご報告致します。

- ★緩和ケア病棟入院届出受理施設
- ☆緩和ケア診療加算届出受理施設
- ・一般病院、診療所



【正会員：新入会】

- ★帯広第一病院（北海道帯広市）
- ★津軽保健生活協同組合 健生病院（青森県弘前市）
- ★市立ひらかた病院（大阪府枚方市）
- ☆愛知医科大学病院（愛知県長久手市）
- ・一宮市立市民病院（愛知県一宮市）
- ・中島医院（東京都清瀬市）
- ・ゆみのハートクリニック（東京都豊島区）

【正会員：一般病院からの区分変更】

- ★公立西知多総合病院（愛知県東海市）

【準会員：新入会】

- [個人] 長田 千香（石川県）／ 山中学（埼玉県）
安西 涼子（大阪府）／ 中島 翠（東京都）

【賛助会員：新入会】

- [法人] イーメッセージグループ株式会社
（東京都千代田区）

会員動向（2018年12月25日現在）

地域別	正会員				準会員		賛助会員		合計
	病棟	チーム	一般病院	診療所	法人	個人	法人	個人	
北海道	20	3	2	3	3	6	0	2	39
東北	20	3	2	7	4	2	0	2	40
関東甲信越	93	18	7	20	11	34	5	12	200
東海北陸	39	4	4	4	0	10	0	2	63
近畿	53	5	2	10	3	14	1	2	90
中国	30	1	4	3	2	9	1	1	51
四国	18	1	3	2	2	3	0	1	30
九州	81	4	2	11	1	7	0	1	107
合計	354	39	26	60	26	85	7	23	620

ご寄付について

当協会では、事業に賛同し応援して下さる個人や団体からのご寄付を受け付けており、前回報告以降、下記の方々よりご寄付をいただきました。ご厚情に心よりお礼申し上げます。

- ・榎本 香咲花様（神奈川県）
- ・山田 祐司様（長野県）
- ・田中 巖様（東京都）
- ・原 知克様（東京都）
- ・イーメッセージグループ株式会社様（東京都）

なお、ご寄付の方法につきましては、事務局までお問い合わせいただければ、関係資料をお送りいたします。直接お振込みいただく場合、振込先は下記の通りです。

【振込先】

三菱UFJ銀行 新富町支店
 口座：普通預金 3677396
 名義：日本ホスピス緩和ケア協会 理事長 志真泰夫

調査ご協力をお願い

2019年1月～4月の間に、下記の調査を予定しております。何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

◆ 1月

- 2020年度診療報酬改定に向けたアンケート調査
対象：正会員 緩和ケア病棟・診療所
- 自施設評価共有プログラム実施後アンケート
対象：正会員 緩和ケア病棟
- 緩和ケア病棟運営管理者セミナー事前アンケート
対象：正会員 緩和ケア病棟
- 在宅緩和ケア現況調査
対象：正会員 診療所

◆ 3月

- 認証制度のあり方に関する調査

◆ 4月

- 施設概要・利用状況調査



施設概要・利用状況調査の結果を公開

2018年4月、正会員を対象として実施した施設概要・利用状況調査の結果がまとまり、協会ウェブサイトの会員専用ページに公開いたしましたので、ご案内いたします。また、緩和ケア病棟としてご登録の正会員におかれましては、2019年4月に実施する本調査にご回答いただくにあたり、2018年度の入退院患者データを集計するエクセルのフォーマットを下記のページで配布しておりますので、ご利用ください。

<https://www.hpcj.org/khb/pcudata.html>